

組合掲示板に必ずはりだし、後は資料として保存して下さい。

# 能登空港の 軍事利用反対！

## 第四回定期総会

### 自衛隊のイラク派兵反対！

### 憲法改悪阻止！

### 組織の拡大、充実で平和の実現を

### 嶋垣新代表を選出

石川県平和運動センター  
第四回総会は九月三十日  
(火)、労済会館で役員15名  
と代議員51名、地区平和セ  
ンターの特別代議員12名が  
参加し開催されました。直  
前に小泉再改造内閣が発足  
し、さらに目前に衆議院解  
散が予想され、平和の危機  
が一段と深まる中、平和運  
動センターの役割りを再確  
認し、新たなスタートを切  
る総会となりました。

て川淵代表のあいさつ、そして来賓からのあいさ  
つ(連合石川上田事務局長、社民党県連合平田幹  
事長、桑原豊衆議院議員秘書)とメッセージが紹  
介された後、議事に入りました。

### イラク攻撃反対、有事法制反対の運動を総括

第一号議案として、「二〇〇二年度活動の総括と  
決算報告」が川口事務局長から、「会計監査報告」  
が中田会計監査から行なわれました。

運動の総括では、私たちの平和運動がアメリカ  
一国による世界支配を自論むブッシュ政権の世界  
戦略と、それに追従する小泉政権との闘いである



総会では中江副代表の開会  
あいさつ、資格審査・議事  
運営委員(桑原実運営委員  
他4名)、選挙管理委員(尾  
崎豊吉運営委員他4名)の  
選出に続き執行部を代表し



来賓の方々と川島議長

ことを明らかにし、イラク戦争反対と有事法制・  
イラク新法阻止を掲げた闘いを、組織を上げて展  
開してきたことを確認しました。そしてこの闘い  
は結果的に敗北に終わりましたが、この間、数多  
くの集会、デモ、街宣、ピラ撒き、学習会など  
取り組み、他の平和団体との連携も広がり、今後  
の闘いにつなげる決意を固めました。

### 子孫に戦争法を残してはならない



代表  
嶋垣 利春

諸先輩が築いてこられた「石川県評」、「県評センター」  
から「連帯労組会議」、そして「石川県平和運動センター」  
として名称を変更して再出発し4年。この間、平和・環  
境・人権を守る闘いをする組織としてスローガンを掲げて  
運動を展開してきました。その歴史と伝統ある「平和運動  
センター」の代表としてこの度、選任を頂きました。

私は今、改めてその職責の強さを痛感しております。更  
にこの間、多くの諸先輩や仲間の方で、五十年間という  
永きに渡り「平和な社会環境」を守るために日々努力され  
てきたことを思つと、私も頑張らなければならない決意  
を新たにしております。

さて、小泉内閣は戦争のできる国づくりを着々と進めて  
います。先の国会で、イラクに自衛隊を送るため、イラク  
復興支援特別措置法が賛成多数で成立しました。これに  
よって、自衛隊は初めて外国の領土で本格的な活動をする  
こととなります。

日本は58年前の敗戦以降、平和憲法を定めて軍隊を捨  
てました。しかし、平和憲法の原則を骨抜きにし自衛隊を

軍隊にしようとする動きが急ピッチで進んでいます。PK  
O協力法、周辺事態法、テロ対策特措法、有事関連法など  
の法制化によって自衛隊の活動領域は飛躍的に拡大し、対  
米軍事協力が深まっています。権力を振りかざす米国に追  
随し、自衛隊がイラクをはじめ世界中で銃を振り回すこと  
になれば日本はどうなるのか。果たして、より安全で安心  
できる社会につながるのか。極めて疑問であります。

自衛隊を、海外派遣として出動させるイラク特措法は憲  
法違反であります。更に、小泉内閣は次期国会で憲法改正  
(悪)の準備として国民投票を提案すると報道されていま  
す。

いずれに致しましても、有事関連法や自衛隊法の改正  
イラク復興支援法、住民基本台帳(住基ネット)、更に教  
育基本法の改悪、憲法改悪、反原発など極めて重大な課題  
が山積しておりますが、組織された労働者として、社会的  
な役割りを如何にして果たすかが今、問われています。

私たちを取り巻く労働環境、生活環境や社会環境が厳し  
くとも、声を上げ続けなければならないと思っております。  
なぜなら、子孫に負の遺産となる戦争法を残してはならな  
いからであります。

平和運動センターに結集する先輩、仲間の皆さんととも  
に闘つことを申し上げ、更なるご指導ご協力を賜りますよ  
うお願い申し上げます。一言のご挨拶とさせていただきます。

### 2003年度役員体制

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 代表    | 嶋垣 利春 (北陸鉄道労組)     |
| 副代表   | 野村 年春 (全農林)        |
|       | 中江 信男 (通労協)        |
|       | 中道雄太郎 (自治労)        |
|       | 本間 兼一 (県教組)        |
| 事務局長  | 川口 昭一 (全国一般)       |
| 事務局次長 | 北野 進 (事務局専従)       |
| 運営委員  | 島田満喜代 (高教組)        |
|       | 串田 信行 (全通)         |
|       | 尾崎 豊吉 (全自交石川ハイタク)  |
|       | 桑原 実 (全たばこ)        |
|       | 橋場 章 (雇用労)         |
|       | 上田 昇 (印刷労連)        |
|       | 阿部 三昭 (北日本観光自動車労組) |
|       | 漢野 弘道 (金沢平和運動センター) |
|       | 山崎 時春 (七尾鹿島平和センター) |
|       | 庭田 茂男 (小松能美平和センター) |
|       | 甲谷 徳幸 (青年・女性部)     |
| 会計監査  | 中田 衛 (北陸交通労組)      |
|       | 沖村扶美子 (高教組)        |

### 退任役員

- |    |             |
|----|-------------|
| 代表 | 川淵 尚志 (県教組) |
|----|-------------|

## 憲法改悪反対！イラク派兵阻止！

第一号議案の承認に続き、第二号議案「二〇〇三年度活動方針（案）および予算（案）」が提案され質疑・討論が行われました。

活動方針（案）では、最近の雇用情勢が小泉改革によって一段と厳しさを増しているが、片や戦争のできる国づくりに向けて様々な改悪が進んでおり、私たちの闘いの一層の強化が求められているという認識の下、具体的な活動方針として各単産との日常的な交流の拡大や地区センターとの連携強化、青年・女性部の位置付けを明確にすることなどを通じて組織強化と運動のすそ野を広げていくこと、戦争のできる国づくりと憲法改悪に反対する闘いや反基地、反核・脱原発の闘いを中心に大衆運動を一層強化すること、さらにこれらの課題を実現に向け関係団体との共同行動を拡大していくことが提案されました。

## 6人の代議員から質問と補強意見

これに対して吉川代議員（全農林）から、青



泊代議員  
（高教組）

東代議員  
（全たばこ）

吉川代議員  
（全農林）

田村代議員  
（県教組）

甲谷代議員  
（全国一般）

荒木代議員  
（全国一般）

年・女性部への移行経過や平和センターとしての青年・女性部の今後の運動に対する見解を明確にすべきでないかとの質問がなされました。また、荒木代議員（全国一般）からは昨年闘いをねぎらうとともに、さらなる闘いへの決意と来るべき総選挙では戦争に反対する議員を応援したい、東代議員（全たばこ）からも、総選挙闘争は生活と平和をかけた選挙であり、総選挙の闘いを通して平和運動センターの団結と交流に貢献していきたいという決意表明がありました。甲谷代議員（全国一般）からは青年・女性連絡会から青年・女性部への移行にあたっての決意が述べられました。泊代議員（高教組）からは、有事法成立の次は戦争するための人づくりに向かう。教育現場ではその先取りとしての「心のノート」の使用強制があり、平和教育に対し偏向教育との攻撃もかけられている。教育基本法改悪反対の運動を反戦運動全体の中に位置付けて闘わなければならない。防災訓練における能登空港の自衛隊利用について、平和運動センターとして反対の見解を出してほしい。以上の指摘と要望がありました。田村代議員（県教組）からは夏休み帳問題、平和教育、性教育、ジェンダーフリー教育に対する攻撃の根は同じ。戦争に行く人間を学校現場でつくれという考えがあるとの指摘がありました。

以上の質問や補強意見に対する執行部からの答弁も含め、二号議案は原案通り可決されました。その後、規約改正、役員改選が行われ、退任される川淵代表のあいさつ、嶋垣新代表のあいさつ、そして総会宣言と総会スローガンの確認され、中道副代表の閉会のあいさつ、嶋垣新代表によるガンバロウ三唱で第四回総会は無事終了しました。

## 北日本観光自動車労組が新規加盟

今回の総会を以って私鉄総連北日本観光自動車労働組合（金沢市佐奇森町ラ883）が新たに



阿部執行委員長を述べた決意

加盟することになりました。平和運動センター発足以来初の新規加盟であり、組織の強化を課題とする私どもとしても心強い限りです。阿部三昭執行委員長は総会での挨拶で「厳しい時期だが組織の強化、拡大に頑張っていきたい」との決意を述べられました。

## 青年・女性部第1回定期総会開催

県平和運動センター青年・女性連絡会がこの度、青年・女性部として平和運動センターの専門部に位置付けられ、これまでの運動を継承していくことになりました。10月6日には労済会館において第1回定期総会が開催され、自衛隊の海外派兵反対などの活動方針が確認され、甲谷徳幸さん（全国一般）、田中重治さん（全農林）、宮村夏井子さん（県教組）の三名の代表幹事ら11名の役員が承認されました。これに先立つ平和運動センター第四回総会では代表者一名を運営委員とする規約改正が承認されています。



総会終了後、地区代表者会議が開かれました。当面の最重要課題は衆議院選挙対応です。県平和運動センターは選挙闘争からの撤退を決めていますが、地区センターは連合地協からの要請を受けてそれぞれの判断の下、積極的に協力すること

## 地区平和運動センター代表者会議を開催

総会終了後、地区代表者会議が開かれました。

当面の最重要課題は衆議院選挙対応です。県平和運動センターは選挙闘争からの撤退を決めていますが、地区センターは連合地協からの要請を受けてそれぞれの判断の下、積極的に協力すること

を申し合わせました。二点目の課題は自衛隊のイラク派兵反対闘争です。これまでの有事法阻止、イラク戦争反対の闘いを踏まえ、「テロ特措法」の延長反対、「自衛隊のイラク派兵反対」の闘いを、国会や政治情勢を踏まえながら組織していくことを確認しました。

## 10/21反戦・平和を考える

### 青年女性集会に結集しよう！

#### 「続く紛争とわたしたち」

イラクの現状・課題と展望

日時 10月21日（火）18時～20時  
場所 石川県教育会館 2階会議室  
講師 清水 俊弘氏  
（日本国際ボランティアセンター 事務局長）

## 今後の主な取り組み

- 10/21 青年・女性部10・21国際反戦デー（教育会館）
- 12/6 もんじゅを廃炉に！全国集会（敦賀）
- 12/11 食とみどり、水を守る全国集会（福井）
- 12/12 12日
- 1/16 護憲全国大会（鹿児島）

## ホームページを随時更新

2年前に開設した県平和運動センターのホームページですが、その後、更新が滞っていました。日々の新たな運動の展開や当面の活動方針、これまでの活動日誌等内容を充実させました。「PEACE石川」でカバーできない情報が盛りだくさんです。ご利用ください。またEメールアドレスもこの度変わりました。ご意見、ご要望、ご質問等お寄せください。

- ホームページアドレス  
<http://www.ishikawa-heiwa-center.gr.jp/index.html>
- Eメールアドレス  
[i-peace@ishikawa-heiwa-center.gr.jp](mailto:i-peace@ishikawa-heiwa-center.gr.jp)